

私立高校の授業料が軽減されるってどういうしくみのの？

2020年度から、私立高校に通う生徒への支援が手厚くなっています

学費の支援制度には、国の制度である就学支援金と広島県の授業料軽減制度があります。世帯年収が概ね590万円未満（A～C区分に該当）の場合は、国の制度で月額33,000円の補助対象となり、A区分とB区分では県からの補助額と併せて授業料が全額免除となります。また、A区分とB区分では、県から18万円の入学時納付金の補助を受けることができます。さらに、A区分は、広島県学びの变革環境充実奨学金（※1）として、Chromebookの購入費の一部を受けることができます。



グラフと表で見る 国の就学支援金と県の授業料軽減制度

令和5年度の実績に基づいて作成しています。令和6年度については変更される可能性があります。

区 分		A区分	B区分	C区分	D区分	
対象となる世帯年収の目安（※2）		～約270万円	～約350万円	～約590万円	～約910万円	約910万円～
市町村民税所得割額		0円（非課税）	51,300円未満	154,500円未満	304,200円未満	304,200円未満
授業料等への補助 （最大36か月）	↑ 広陵高校の 授業料・施設設備費 月額40,600円 ↓	県補助額 月額7,600円		保護者負担額		
		国補助額 月額33,000円		月額9,900円		
入学時の補助（※3）	↑ 広陵高校の 入学時納付金 240,000円 ↓	県補助額 180,000円		保護者負担額		
授業料等	就学支援金（国の制度）	33,000円	33,000円	33,000円	9,900円	対象外
	授業料等軽減（県の制度）	7,600円	7,600円	対象外	対象外	対象外
	月々の保護者負担額	0円	0円	7,600円	30,700円	40,600円
入学時納入金の補助（県の制度）		180,000円	180,000円	対象外	対象外	対象外

（※2）両親・高校生・中学生の4人家族で、保護者の一方に収入がある場合の目安です。

市町村民税所得割額は家族構成等によって違ってきますので、税額については市町村の課税担当部署にお問い合わせください。

（※3）入学時納入金の補助は入学手続きが完了した後に受けることができますので、一旦は入学金を納入していただくことになります。

広陵高校の納付金 令和6年度1年生の例です。令和7年度は変更の可能性あります。

参考になる県のサイト

■ 月額納付金

授業料 40,000円
施設設備費 600円
合計 40,600円

■ 入学時納付金

入学手続き金 80,000円
入学金 160,000円
合計 240,000円



私立高等学校授業料等の負担軽減について
広島県庁学事課のサイト



広島県学びの变革環境充実奨学金について
広島県教育委員会のサイト
（※1）



月額納付金は上記金額に生徒会費、PTA会費、校外教育費、冷暖房費などを合わせて徴収いたします。